研究室名

## 植物化学研究室、先端機器分析センター 論文発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研生または卒業生

発表時期	2019年
題名	PUB4, a CERK1-Interacting Ubiquitin Ligase, Positively Regulates MAMP-Triggered Immunity in Arabidopsis
掲載雑誌	Plant and Cell Physiology, 60:2573-2583
著者	Yoshitake Desaki, Shohei Takahashi, Kenta Sato, Kanako Maeda, Saki Matsui, Ikuya Yoshimi, Takaki Miura, Jun-Ichi Jumonji, Jun Takeda, Kohei Yashima, Masaki Kohari, Takayoshi Suenaga, Hayato Terada, Tomoko Narisawa, Takeo Shimizu, Emi Yumoto, Koji Miyamoto, Mari Narusaka, Yoshihiro Narusaka, Hanae Kaku, Naoto Shibuya (卒研生または大学院生には※、本学教職員、研究員にはアンダーライン)
概要	シロイヌナズナの免疫応答において、CERK1は微生物分子パターンの認識に重要な役割を果たす。CERK1の新規相互作用因子として、ユビキチンリガーゼであるPUB4を見出した。PUB4変異体では恒常的にサリチル酸が蓄積しており、免疫応答が過剰に起こっていた。このことから、PUB4はシロイヌナズナの免疫応答を負に制御すると考えられる。本研究は、明治大学などとの共同研究で実施され、植物化学研究室および先端機器分析センターにおいてサリチル酸の定量分析を行った。